

「修飾」という考え方 <ページ1>

♪ 「修飾」という考え方 ♪

◆「修飾」って？

簡単な言葉で言うと「飾る」こと。「説明する」こと、と考えても良いです。
ここで解説していく「修飾」は、**名詞に対する修飾**です(^o^)φ

例えば、

・その女の子は、歌手だ。

これは「修飾」部がない文。

この文に出てくる「(その)女の子」や「歌手」という名詞に対して、

「どういう女の子」なのか / 「どういう歌手」なのか

という**説明**を付け加えるのが、「修飾」部の役目です 川^▽^川 ~♪ (←歌手の女の子?)

・毎日テレビに出ているその女の子は、歌手だ。

・犬と遊んでいるその女の子は、歌手だ。

・その女の子は、若者に人気のある歌手だ。

・その女の子は、昨年ニューヨークでデビューした歌手だ。

_____部が修飾部。

「これこれこういう女の子」、「これこれこういう歌手」と、の名詞を修飾しているね。

【ミニ練習問題】 次の文中で、で囲まれた名詞を修飾している修飾部に下線を引きなさい。

(1) あの木の下に立っているは私の妹です。

(2) 私は、この部屋の奥で眠っているを飼っています。

(3) これは夏目漱石が書いたです。

(4) 母が買ってきたはおいしかった。

(5) 向こうのベッドで泣いているは彼らの娘です。

(6) 英語は世界中で話されているです。

(7) それらはアメリカで作られたです。

(8) 私が彼から先月もらったはとても難しい。

(2)私は

(3)これは

(6)英語は

(7)それらは

↑

この部分には

下線は引かないでね！

「どういう〇〇」の「どういう」という部分には

これらは含まれないよね。

つまり、「修飾部」には含まれないということ(^o^)

☆ 日本語での「修飾部」と「修飾される名詞」の位置関係、つかめたかな～？

ここでつかんだ感覚を忘れないでね！ では次に進みましょう(^▽^)/